

プロジェクト名	日本文学に描かれた東南アジアのイメージ表象に関する分析研究		
プロジェクト期間	平成 22 年度		
申請代表者 (所属講座等)	久保田 裕子 (国語教育講座)	共同研究者 (所属講座等)	なし
取組方法および 取組実績の概要	<p>①本プロジェクトの取組方法 当プロジェクトは、平成 22 年度科学研究費補助金（基盤研究（c））「日本文学に描かれたタイ国文化表象の分析研究」における研究テーマを分化・発展させ、「日本文学に描かれた東南アジア」、特に三島由紀夫とその周辺の作品研究というテーマに特定して研究を遂行した。科研における研究テーマの一部を分化させて論じることで本プロジェクトを遂行し、研究全体の深化・拡大をはかることを目指した。</p> <p>②本プロジェクトの取組実績の概要 科研の研究は主にタイ国と日本文学との関係を分析したものであるが、本プロジェクトを通し、アジア全体に視点を広げることが可能になった。科研の研究領域と関連した別テーマとを相互関連させることによって、研究の発展性と継続性を目指した。結果として研究テーマを分割・統合させる試みが可能となり、新たな研究スタイルを模索する機会を与えて頂いた。</p> <p>③本プロジェクトと科学研究費補助金との関連性 下記のように、科研費の研究テーマから分化・発展させた研究を本プロジェクトで遂行し、両者を統合して次の科研費申請へつなげることを目標とする。 平成 22 年度科学研究費補助金 平成 22 年度福岡教育大学プロジェクト推進経費→統合→次の科研申請</p>		
研究成果の概要	<p>本研究の成果は以下の通りである。特に福岡市文学館との共催で市民講座を開催したことは、研究成果を学会のみならず、地域の一般の市民へ還元するという社会貢献を行った点で新たな試みが可能となった。この成果発表はタイ国と韓国の日本文学研究・受容状況を比較して報告したものであり、科研と本プロジェクトを接合させることによって実現した。</p> <p>(著書)</p> <p>1、「『鹿鳴館』の時代—明治の欧化政策と女性たち—」『三島由紀夫とその時代』(笠間書院、2011.3) 共著、pp.32～50</p> <p>2、「日本文学はタイをどのように描いてきたか」“International symposium on Japanese Studies in Thailand 2010 (Chulalongkorn University Press、2011.7 刊行予定) 共著、pp.1～18</p> <p>(論文)</p> <p>1、「三島由紀夫と松本清張の東南アジア—「創作ノート」という方法」『越境する三島由紀夫、三島由紀夫研究』⑩ (2010.11) 単著、pp.112～123</p> <p>2、「王妃の肖像—三島由紀夫『暁の寺』におけるタイ国表象—」『福岡教育大学国語科研究論集』、第 52 号 (2011.2) 単著、pp.19～36</p> <p>3、「忘却された戦争—松本清張『熱い絹』と東南アジア—」『松本清張研究』第 12 号、(2010.3) 単著、pp.118～135</p> <p>(参考)</p> <p>1、「別冊太陽 三島由紀夫」(平凡社、2010.11) 単著、「宴のあと」「美しい星」「午後の曳航」pp.80～85</p> <p>(学会発表)</p> <p>1、タイ国日本研究国際シンポジウム 2010 (2010 年 10 月 26 日、タイ</p>		

	国立チュラーロンコーン大学) 「日本文学はタイをどのように描いてきたか」 (社会貢献) 1、福岡市文学館・平成22年度科学研究費補助金共催 市民公開講座「もうひとつの〈日本〉ータイ国からみた日本文学・文化研究の過去・現在ー」 (2011年1月22日、福岡市文学館)		
外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法について			
外部資金獲得 申請 (予定)	科学研究費補助金	研究成果の 公表方法 (予定)	国際交流基金共催でタイ国で シンポジウム開催予定